

やまきたまち 議会 だより

議会のおと



「さくらとともに」 山田さんご一家
(関連記事は裏表紙に)



議会ホームページは
こちらから

P 7……………もっと知りたい正副議長のす・が・お

P 8～9………**特集**「やまきた駅前朝市物語」

任期4年の後半2年 新体制で始動！



1番 和田成功

2番 池谷仁宏

3番 瀬戸伸二

4番 高橋純子

5番 石田照子

6番 大野徹也

7番 富田陽子

8番 府川輝夫

9番 熊澤友子

10番 遠藤和秀

11番 児玉洋一

12番 瀬戸恵津子

地域防災課長（一社）
関東地域づくり協会の補
助金149万円（補助率
10/10）が採択され、岩
流瀬地区に水防に関する
防災倉庫を設置する。

《一般会計補正予算》
新しく防災倉庫を設
置する理由と概要は。

ここが聞きたい 6月定例会

瀬戸恵津子新議長で迎えた初の定例会。令和7年第2
回定例会は6月9・10日の2日間で開催されました。

主な議題は、定額減税不足分差額給付に伴う補正予算、
動産取得など。全て原案どおり可決しました。注目質疑
を掲載します。



町職員による土のう作り訓練の一幕

河川氾濫

～備えあれば憂いなし～

町内の防災倉庫の状
況は。

維持管理や地域住民
を対象とした水防訓練
などの活用方法は。

地域防災課長 一般の備
蓄に関する防災倉庫は、
町内の避難所となってい
る施設など約10か所に設
置済みだが、水防に関す
る防災倉庫は現在前耕地
地区の1か所しかないた
め、酒匂川沿いにも追加
をする。

地域防災課長 今後町が
維持管理を行い、スコッ
プや土のう・砂などを
使った水防訓練を消防団
や地域住民を中心に実施
していく予定である。

定額減税補足給付金

(不足額給付)

～令和6年度不足分差額給付へ～

(概要)

○ 6年分所得税等の確定データを用いて本来給付すべき支給額を算定し、昨年度支給分との差額を支給するもの。
○ 対象見込み人数は928人、支給見込み額は約2855万円。

6年度支給した方にさらに上乗せするといふことか。

福祉課長 6年度調整給付では、5年所得税等のデータを基にした推計額を用いて算出し、あくまで推計額として支給していた。

7年度は、6年分確定データを用いて本来支給されるべき額に足りていなかった差額を不足額として支給するもの。

給付方法と時期は。

福祉課長 6年度と同様にプッシュ型で支給となるが、個人事業主の青色事業専従者等は申請が必要となる。
対象者には確認書を送付し受付審査後、支給となる。

6月中旬からシステム改修と対象者の確定を実施して、7月から順次確認書を送付する。

第1回目支給を8月20日、最終支払日は10月20日と予定している。

森林環境譲与税

～町産木材の有効活用を～

木育遊具購入費47万5千円の詳細は。

農林課長 町産のヒノキ材を使ったダイニングテーブル1台と椅子8台を生涯スポーツセンターに設置する。

チェーンソー講習会
実施業務委託料19万8千円の詳細は。

農林課長 林業事業体以外で、山林をお持ちの個人の方など20名を対象にチェーンソー技術習得に向けた講習会講師及び資材等購入費としている。
委託先は、山北町森林組合で参加費は無料を予定している。



町産木材の積極的な活用を生涯スポーツセンター（ホール）

《動産取得》

公金収納

DX化へ

公金セルフ収納機748万円の購入にあたり、今後の運用方法はどうなるのか。

会計課長 機器納入が7年12月、8年1月から運用開始を予定している。

その後、指定金融機関の派出窓口と併用しながら運用を行い、年度末までに派出窓口のみを閉鎖する。

セルフ化することで、町民及び職員に対するメリットは。

会計課長 作業を機械化することで、集計間違いの防止や業務の効率化が図られることに加え、延滞金を機械が自動計算するため、納付書の再発行等が不要になり利用者の待ち時間が短縮する。

議案等審議の結果

第2回 定例会（6月9日～10日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和7年度一般会計補正予算（第1号） ・主に住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業の追加実施などに係る3,342万円を増額し、総額を56億6,142万円とするもの	可決	令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 ・地籍調査事業ほか2事業について、令和6年度から令和7年度へ繰越すもの	報告のみ
動産の取得 ・セルフ収納機買入れのための契約を締結するため、議会の議決に付すもの	可決	令和6年度町土地開発公社事業報告及び決算報告 ・町土地開発公社理事会において承認された事業報告及び決算報告するもの	報告のみ

問 やまきた児童クラブの運営状況は。

答 令和7年4月の開所状況は、利用登録者数138人、1日平均58人の利用となっている。

今年度は、「外国語・国際交流」の活動について準備している。

問 一貫教育・保育の更なる深化を

答 より質の高い教育・保育をめざす



わだ あきのり
1 番 和田 成功 議員

問 一貫教育・保育の取組み状況は。

答 令和5・6年度で、子どもの育ちと学びのつながりを意識し、より質の高い教育・保育の実施をめざしたモデルカリキュラムを編成した。園児・児童・生徒それぞれの発達段階に応じたねらいを共有し、実践している。

今後は、PDCAサイクルを展開し、めざす子ども像の具現化に向け、取組んでいく。

問 今後の子育て支援への取組みは。

答 出産・子育て支援のみならず、教育・保育事業を含めて妊娠期から子育て期の幅広い施策により、出生数の増加をはじめ、子育て環境や教育環境の充実につながるよう取組んでいく。



動画はこちら

問 複合災害への対応力強化を

答 「自助」の精神を育み、備える力が何より大切

問 地震など発災直後、医療ケアや介護が必要な方への支援は整えられているか。

答 避難行動要支援者制度の登録を勧め、地域福祉支援システムにより自治会と情報共有し災害に備えている。

また、医薬品の備蓄や高齢者福祉施設と協定を結び要援護者の受入れ体制を整えている。

問 豪雨災害時に避難が難しい状況下で、適切な避難行動をどう促すのか。

答 豪雨時の適切な避難行動を促すため、平時から防災ハンドブック「台風・大雨のポイント」の確認、マイ・タイムラインを活用し家族間で話し合うなど、広報や防災訓練などを通じて町民の防災意識向上に取り組む。



たかはし じゅんこ
4 番 高橋 純子 議員

問

災害等の停電下で、どのように情報を収集しているのか。
また、情報弱者への支援体制は。

答 停電等の情報は、東京電力から収集している。防災無線の難聴地域には個別受信機を無償配付している。



防災の要
「防災ハンドブック」



動画はこちら

問 更なる町の活性化に向けて

答 関係機関や団体と調整して進める



いけや きみひろ
2番 池谷 仁宏 議員



動画はこちら

問 町産木材の今後の活用は。

答 令和7年度は、川村小学校校舎の改修工事に合わせて、山北産のヒノキ材による下駄箱の製造、設置を予定している。

問 耕作放棄地の今後の対策と活用は。

答 令和6年度には、7件9812㎡の遊休農地を解消することができた。

引き続き農業委員会を中心に関係団体等と連携を図りながら、さまざまな解決方法を考えて行く。



生涯スポーツセンター

問 人口増加に向けた新たな取り組みは。

答 第3次定住総合対策事業大綱の目標値である令和6年度の転入者数は、230人を超え、一定の効果を得られた。

しかし、人口減少は依然と続いている状況から新規事業や拡充事業を展開していく。

また、関係人口対策としてスマートICを活用した取り組みも考えていきたい。

問 自治会運営の課題解決に向けた改革を

答 ICT化を更に進化させ前に進めたい



いしだ てるこ
5番 石田 照子 議員



動画はこちら

問 配布物も大きな負担となっている。町の公式LINEやホームページで閲覧できる情報は、デジタルで見えていただくよう検討したかどうか。

答 配布物や回覧の負担軽減を図るため、数年で年間30種以上の配布物削減に努めてきた。

いきなりペーパーレス化は難しいが、デジタル化や町と連合自治会・自治会との情報共有などの方法を研究する中で、ペーパーレス化についても考えていきたい。

問 なり手不足の解消には、若い方でも参画できるよう環境整備を進める必要があるのではないか。

答 ICT化による負担軽減や低年齢化・女性登用なども推奨していききたいと考える。



「久しぶりに笑った。あ〜楽しかった！」
令和7年7月1日 原耕地で始まった異年齢交流

答 (仮) 山北スマートIC周辺土地利用構想では、農地を視野に入れた具体的な計画は示されていないが、周辺施設と連携した有効な土地利用の展開を検討する。

問 (仮) 山北スマートIC周辺の土地利用計画に、農地を視野に入れた取組みは。

問 多角的な視点で 土地利用計画を

答 町民の意見を
最大限に尊重する



せと しんじ 議員
3番 瀬戸 伸二

問 丹沢湖周辺に「観光客が目的地とする施設がない」と言う住民の声がある。
未利用町有施設を、観光拠点として有効活用すべきでは。

答 持続可能な観光の実現に向け、未利用施設の活用を推進し、既存の観光施設や丹沢湖周辺の自然環境等、集客性の高い観光資源と連携させ、一体で有効活用できるような方策を検討する。



(仮) 山北スマート IC 完成予想図

問 耕作放棄地、遊休農地を活用した取組みをすべきでは。



動画はこちら

答 (仮) 山北スマートICが開通すると、町外から農業の担い手呼び込める可能性が広がると考えている。
農家の方の意向など状況を確認し、必要な支援を行う。

問 1. ごみ減量化へ 2. ごみ処理広域化に向け 周知を

答 1. 剪定枝等と製品プラの回収に取り組む
2. 精査して説明していく

答 草や剪定枝等のごみが多いこと、布団やタンズなど大物の粗大ごみが多いことが要因と考えられる。
7年度は、試験的に剪定枝等の資源化回収を予定している。

問 当町の1人1日あたりのごみ排出量は、4年度実績で9819、県内で4番目に多い。その要因と対策は。

問 ごみ減量化を進めるために資源ごみの分別品目を増やしては。



とみ た ようこ 議員
7番 富田 陽子

答 ごみ処理広域化事業において、ごみの収集品目について協議しており、当町では製品プラスチックの適正処理について検討をしている。
今後、資源化可能な品目について調査研究し、更なるごみの減量化を進める。

問 ごみ処理広域化に向け、今後全町民に対し周知を行う考えは。



動画はこちら

答 山北町だけが個別に情報を出すのではなく、1市5町で同じ情報を発信することとしている。
現在、HPに概要が載っているが、更新するのも1つとして検討していきたい。



岩流瀬橋付近の南足柄市清掃工場
ここに1市5町の焼却施設が建設される予定

「町民対話を大切に♪」

Q 議員になったきっかけは？

足柄上青少年会館の運営委員長として、閉館の反対運動に携わったことが大きなきっかけです。

また、さまざまな人が議員になるべきと思ったからです。山北町まちづくり委員会でまちづくりに興味を持ちました。

Q 議会以外ではどんな活動をしている？

地域の介護施設や高齢者の集い等でピアノを弾きながら、多くの方々と交流をしています。

Q 休みの日はどんなことをしている？

音楽活動や俳句を作っています。

Q 議長の意気込みをどうぞ！

開かれた議会をめざし、情報発信と町民対話に務めます。



瀬戸 恵津子 議長

子どもたちに小学唱歌を伝えたい

もっと
知りたい

正副議長の

す・が・お

議会広報モニターから、もっと議員のことを知りたいという声もあり、今回は議長・副議長を突撃インタビューしてみました！

「更なるスキルアップをめざして」

Q 議員になったきっかけは？

議員のあり方、選挙のあり方に疑問をもっていました。何が正しく何が正しくないのか、自分の目で確かめたいと思ったからです。

Q 議会以外ではどんな活動をしている？

交通指導隊として朝、小学生登校時の横断歩道や、イベント時に交通整理をしています。交通安全こども自転車神奈川県大会の練習も指導しています。人数が減ってきているので、交通指導隊と一緒に子どもたちを見守ってくださる方を増やしたいです。

Q 休みの日はどんなことをしている？

小学 2 年生の息子と遊んだり、山北サッカークラブの活動に同行しています。

Q 副議長の意気込みをどうぞ！

議長をしっかりサポートしていきたい。



和田 成功 副議長

一緒に交通指導隊をしてくださる方大募集！



山北にんにくの香りと高校生の声が
朝市まつりにひびく



チャンス膨らむ♪ ガラガラ抽選会
子どもたちにも人気



昭和30年のやまきた駅前

「人の手、人の声で
続いてきた」

やまきた駅前朝市物語

やまきた駅前朝市実行委員会

委員長インタビュー

「朝市が始まった当初の様子や、にぎわいについて教えてください。」

約20年前、その頃はまだ駅前にマンションも無く、駅施設の空き地で商店街の店以外にも地元農家さんも自産の野菜等を持ってきたりと、にぎわっていましたよ。

「長く続けてこられた中で、どのような工夫や思いをもって続けてこられたのですか？」

長く続けてこられたのも、まずはお客さんが来てくださったからこそ。来てくれる方がいなければ、続けることはできませんでした。

だからこそ、多くの人に知ってもらえるように、SNSや紙媒体で広くPRしたり、朝市で人気のガラガラ抽選の景品を工夫したりと、いろいろなアイデアを出してきました。来てくださったお客さんが「また来たい」と思えるように、楽しい雰囲気づくりを大切にしています。



朝の静けさに、活気が灯る



朝のにぎわいは、町の元気のしるし



朝市まつりを盛り上げにきてくれた、
でこにいと大道芸の皆さんのコラボ！



にぎわいの中に、いつもの笑顔



朝市の“笑売人”たち

「売る」から「つながる」へ 人が出会う、やまきた駅前朝市

ギカイのミカタ

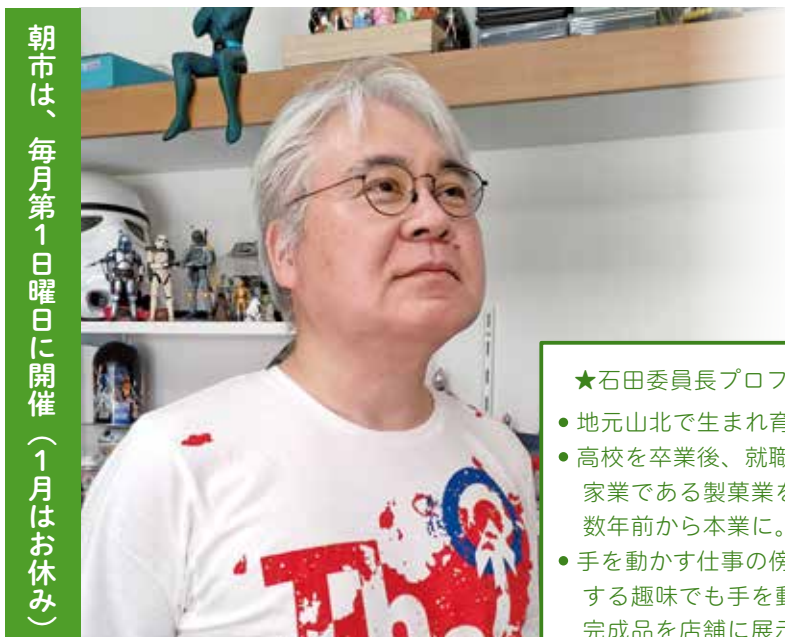
かつてのにぎわいは姿を変えましたが、それでも朝市をはじめ新たな挑戦がまちに息づいています。過去にとらわれず、今ある力に光をあて、未来を育てる視点が大切です。変化を恐れず、山北駅周辺活性化に向け進もうとする姿勢を感じました。

町内にどんなお店があるのか、まだ知られていない魅力もたくさんあります。そんなお店を知ってもらうきっかけになればうれしいですし、会場に足を運んでくださった方が気軽に声をかけ合い、つながりを感じられる——そんな、地域のコミュニティの場としても活用していただけたらと思っています。買い物だけでなく、人とのふれあいや会話も楽しめる、あたたかな時間になれば何よりです。

——これからの朝市が、地域の人たちにとってどんな場になっていけたらいいと思いますか？



SNSでも発信中 #朝市はじめました



朝市は、毎月第1日曜日に開催（1月はお休み）

★石田委員長プロフィール★

- 地元山北で生まれ育つ。
- 高校を卒業後、就職しつつ家業である製菓業を手伝い、数年前から本業に。
- 手を動かす仕事の傍ら没頭する趣味でも手を動かし…。完成品を店舗に展示。

——議会や行政にひとこと！

かつて「鉄道の街」として多くの人でにぎわい、町の顔でもあった駅周辺。そのにぎわいや活気は、町の歴史や人々の記憶にしっかりと刻まれていきます。その面影を今に伝え、将来へと受け継いでいくためにも、どこか懐かし、親しみや温もりのある、そんな駅舎の建て替えを心から願っています。



No.221 議会のおと 広報モニターアンケート

議会広報モニターの皆さまから前号（No.221）に関してのアンケートに回答していただきました。モニターの方の多様な声でつくる議会だよりをめざしています。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

～定例会審査～

賛 成意見、反対意見の理由がそれぞれ記載されていて主張がわかって良い。

ご みに対して他力本願なところがあると感じる日々です。環境に対して個々で考えるいい機会だと思いました。

～特集「とれたて山ちゃん」で聞いてみた～

と れたて山ちゃんの由来や体制、皆さんの活動の様子がわかって、とても面白かった。こういうページいいですね！

支 える「人」と自慢の手作り「商品」に焦点がしっかり当てられていてよかったです。フルカラーで見られたらより魅力的だろうなと少々おしく感じました。



～表紙・裏表紙～

裏 表紙の内容（山北でお店をはじめられたきっかけ）も、表紙テーマと合致しており読み応えを感じました。

同 じ山北で活躍している方々のストーリーを知ることができて勉強にもなるし、うれしく思う。



～広報モニター意見～

モ ニターの皆さんのいろいろなアイデア参考になりますね！自分も読んでいてなるほどと思わされます。

～その他～

レ イアウトがポップな印象になっていて、読みやすい。

モ ニターアンケートのデジタル化を早く！グーグルフォーム等使えば難しくないのでは。

※全集計結果はホームページに掲載しています。



「議会のおと」の新しい編集メンバーです。
よろしくお願いします！



「丁寧着実に」

このたび、広報広聴委員長を拝命いたしました。前委員長が築いてこられた紙面への信頼を大切に、委員の皆さんとともに、一つひとつ丁寧に作り上げてまいります。

議会で得た情報や町民の声を、わかりやすく、そして伝えるかたちでお返りする——広報紙は、そのための大切な橋渡しだと思っています。日々の暮らしの中で、ふと手に取っていただけるような、親しみとあたたかさのある紙面をめざしていきます。

「議会のおと」とは町民の皆さまに寄り添い、ともに歩む“伴走者”。そんな思いも込めて、これからも進めてまいります。どうぞご期待ください。



委員長
高橋 純子

やまきた町議会
おしゃべり Cafe

おしゃべり Cafe は、
隔月 20 日に開催！

※当日の様子など記載した
おしゃべり Cafe 通信はホーム
ページでご覧いただけます。



【山北地区】

日時：8月20日（水）13：30～15：30

場所：生涯スポーツセンター ミーティング室
（山北 2594-1）

木の香りのする新しくできた施設で気軽におしゃべりしましょう。

【岸地区】

日時：10月20日（月）13：30～15：30

場所：小田原百貨店山北店（岸 58-3）

各種団体、グループとの出張おしゃべり Cafe も実施しております。ご要望があればどこへでも伺います。

ご希望の方は、議会事務局（☎ 75-3653）まで。

活きいきひろば

さくらとともに

山北地区在住 やまだ 山田 えつこ 悦子さん



生まれ故郷の山北に戻り12年、
2016年9月に古民家をDIYでリノベーションし「さくらカフェ」を開業しました。

36年ぶりの山北は、幼い頃と変わらない風景、桜並木や豊かな自然の美しさに改めて気づきました。大好きな桜並木の散歩道、御殿場線、D52が鎮座する素晴らしいロケーションの古民家と縁をいただき、カフェを始めました。この町の魅力を再発見し、まったりくつろげる、おしゃれな場所を作りたいと。体力と気力が取り柄の私、料理好きの妹、空間作りが好きな夫、大切な友人達と共に、2017年には看板犬「さくら」も加わりました。

さくらカフェでは、大野山の薫る野牧場のソフトクリームや、こだわりの器に乗せたオリジナルカフェ飯を提供しています。10年が経ち、桜並木も私達もシニアになりましたが、これからは無理せず、お客様との出会いを大切に、ゆつくりと楽しんでいきたいです。

表紙テーマ

議会をより身近に感じてもらえるように、町内事業者やさまざまな活動をされている方々の写真を表紙のテーマとしています。



[OPEN] 11:00 ~ 16:00 [定休] 水・木 (※金は不定休) [TEL] 0465-25-0016

議会の傍聴においでください

第3回定例会(予定)

9月3日(水)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ

議会事務局

75-3653

町議会

YouTube チャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録をお願いします



高橋 純子
富田 陽子
和田 成功
瀬戸 伸二
石田 照子
児玉 洋一

編集メンバー

編集委員の つぶやき



議会広報紙の編集に関わって、気づけば10年!これまで、たくさんの研修や町民の皆さん、広報モニターさんたちからの声に耳を傾けながら、少しずつ着実にパワーアップしてきました。新しいメンバーになっても、“わかりやすく・タイムリーに・ちょっと面白く”町や議会のHOTな情報をお届けしていきます♪

「HOT」といえば!山・川・湖がそろう丹沢湖エリアにも、いよいよアツい(暑い!?)夏がやってきました!SUPで自然を思いっきり楽しんだあとは、のんびり中川温泉でリラックス。汗も疲れも流して、また明日への鋭気を養ってください。

(記) 児玉 洋一